

朝来市国土強靱化地域計画の主な修正点

1. 主な修正点

① 計画期間の更新

現 行：令和2年度～（概ね5年間）

改訂案：令和8年度～（概ね5年間）

② 基本方針（第2章）

強靱化を推進する上での基本方針を、国の基本計画に合わせ、4項目から5項目へ修正。

項目	現行計画	修正案
方針1	長期的観点からの推進	市民の生命と財産を守る防災インフラの整備・管理
方針2	多様な主体の連携の推進	経済発展の基盤となる交通・通信・エネルギー等ライフラインの強靱化
方針3	適切な施策の組み合わせ、効果的な施策の推進	デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化
方針4	効率的な施策の推進	災害時における事業継続性確保を始めとした官民連携強化
方針5	（なし）	地域における防災力の一層の強化

③ リスクに対する脆弱性評価（第3章）

- ・事前に備えるべき目標

内容を整理・統合し、8目標から6目標に修正

- ・リスクシナリオの再編（第3章）

項目数：38項目→28項目に統合・再編

④ 施策分野への「デジタル活用」の追加（第4章）

強靱化に向けた施策の推進方針（第4章）において、新たに「14 デジタル活用」の項目を追加。

2. 章ごとの詳細な修正点

第1章 はじめに

趣旨の更新：

- ・地域防災計画の策定年を更新（平成26年3月→令和4年11月）
- ・国の国土強靱化基本計画の変更（令和5年7月）や、近年の災害状況を反映

第2章 基本的な考え方

基本方針：

前述の通り、デジタル活用やインフラ強化を重視した5項目に刷新。

特に配慮すべき事項：

- ・近年の災害事例として「令和6年能登半島地震」などを追記
- ・対策として「DXの推進」の必要性を明記（災害関連情報の予測・分析、検知・収集・集積・伝達の高度化など）

第3章 リスクに対する脆弱性評価

想定するリスク（災害履歴）：

- ・雪害の履歴に「平成29年1月豪雪（1月13～16日、23～24日）」を追加。

脆弱性評価：

- ・「事前に備えるべき目標」の表現を一部修正
- ・リスクシナリオを38項目から28項目へ修正

第4章 強靱化に向けた施策の推進方針

構成の修正：

- ・「13 広域連携ほか」を「13 広域連携、その他」に修正
- ・「14 デジタル活用」を新規追加

別紙1 脆弱性評価結果

- ・リスクシナリオを38項目から28項目へ修正

別紙2 市域の強靱化を推進する主な事業（概ね5か年程度）

- ・計画期間に合わせて対象事業を更新
- ・「14 デジタル活用」を新規追加

別紙3 重要業績指標（KPI）

- ・計画期間に合わせて指標を修正
- ・指標の一部見直し、新規追加等
- ・「14 デジタル活用」を新規追加